

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 405 号	氏名	西依 倫子
学位審査委員	主 査 植田 弘師 副 査 中嶋 幹郎 副 査 岩田 修永		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、中枢性疼痛疾患の一つである線維筋痛症解明を目的に新たな実験動物モデルを作製したものであり、研究目的として十分に妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 本研究で用いた繰り返しストレス暴露は、倫理規定に基づくものである。さらに実験動物に対する最低限の負荷としてデザインされている。行動評価に用いた疼痛評価試験法は一般的な試験法であり、これらは目的を達成するのに極めて妥当な研究手法である。</p> <p>3. 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、繰り返しストレスを与えた群で有意な閾値の低下が認められた。その特徴は、臨床病態で特徴的な長期性、全身性の異常痛に加え、性差学的特徴も類似するモデルであることを明らかにした。さらに臨床で使用される鎮痛薬としてのmorphineの低感受性や抗うつ薬、gabapentinの有効性において、その特徴が現存する動物モデルの中で最も病態を反映する特徴を有していた。これらの研究成果は、線維筋痛症に代表されるような原因不明の中枢性疼痛機構の解明や、治療薬のスクリーニングや開発において大きな進展が期待される点で高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は線維筋痛症における基礎研究手法に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			